



## バヌアツ共和国

Republic of Vanuatu

2007年8月現在



### 一般事情

- 1.面積 1万2,190平方キロメートル(新潟県とほぼ同じ大きさ。世銀)
- 2.人口 221,417人(2006年、太平洋共同体事務局)
- 3.首都 ポートビラ(1.9万人、1998年)
- 4.民族 メラネシア系93%、英仏人2%、中国系、ベトナム系等
- 5.言語 公用語はビシュラマ語(ビジン英語)、英語、仏語の3つ
- 6.宗教 殆どがキリスト教徒(プレスビテリアン、ローマ・カトリック、  
アングリカン、セブンス・デイ・アドベンティスト他)
- 8.通貨 バツ(Vatu)  
為替レート 106.67バツ = 1米ドル 121円(2007年2月)  
補助通貨単位 -
- 9.査証(ビザ)
- 10.在留邦人数 59名(2006年9月現在)
- 11.在日当該国人数 2名(2005年10月現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 678 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)  
税率 - %  
製造数量 - (百万本/年)  
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

コンセント・タイプ

### 7.略史

年月	略史
1605年	キロス(スペイン人探検家)が発見。
1906年	英仏の共同統治下に入る。
1980年8月1日	独立(英連邦の一員)、サント島反乱鎮圧

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館 なし

### 政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 バニ大統領の任期満了に伴い、2004年4月にアルフレッド・マセング・ナロ氏が大統領に選出されたが、有罪判決を受けていることが判明し、5月、最高裁の判断により大統領職を解任された。8月に改めて行われた大統領選挙の結果、カルコット・マタスケレケレ氏が大統領に選出された。
- 3.議会 一院制、任期4年、52議席
- 4.政府 (1)首相 ハム・リニ(Ham Lini)(2004年12月就任)  
(2)外相 ジョージ・ウェルス(George Wells)(2007年7月就任)
- 5.内政  
バヌアツはかつて英・仏が共同統治下を行ってきたことから英系と仏系の政党が政権争いを繰り返して内政は不安定な状態が続いてきた。  
2004年11月にボオール首相(仏系)が単独で台湾を訪問し、台湾との外交関係樹立のコミニケを発表したが、ほとんど全ての閣僚は「一つの中国」政策を維持すべきとの立場を表明したため、ボオール首相の内閣での立場が孤立し、結局同年12月に内閣不信任動議が提出、可決され、新首相にハム・リニ(英系)が選出された。  
2005年には2度の内閣改造があった。  
また、2007年7月の内閣改造の結果、ジョージ・ウェルスが外相となった。

### 外交・国防

- 1.外交基本方針  
外交関係の多角化、南太平洋諸国、特にPNG、ソロモン等メラネシア諸国との連帯強化、非同盟主義の推進、各地(ニューカレドニア等)の独立運動支援、反核政策推進。

### 経済

- 1.特徴 伝統的経済部門(全人口の8割、GDPの2、3割)と近代部門(観光、金融等)の二重構造。  
後発発展途上国。
- 2.GNI 337.9百万米ドル(2005年、世銀)
- 3.一人当たりGNI 1,600米ドル(2005年、世銀)
- 4.経済成長率 3%(2004年、世銀)
- 5.消費者物価上昇率 2.8%(2004年、ADB)
- 6.総貿易額(2002年ADB)  
(1)輸出 2,793百万バツ  
(2)輸入 12,433百万バツ
- 7.主要貿易品目  
(1)輸出 コブラ、木材、カヴァ、牛肉、ココア  
(2)輸入 機械・輸送機器、食料品、日用品

8.貿易相手国(2003年)

(1)輸出 インド、タイ、韓国

(2)輸入 台湾、豪、日本

9.通貨

バツ(Vatu)

10.為替レート

106.67バツ = 1米ドル 121円(2007年2月)

11.経済概況

コブラの生産と自給自足農業を基盤とするが、都市部と農村部では大きな格差がある。

恒常的な輸入超過で、赤字を外国援助で補填。

近年は農業の多様化と観光振興に力を入れている。

また、1997年半ばよりADBの協力のもと大規模な行政・経済改革である「包括的改革計画」を実施しており、2003年には中期計画として「優先課題・行動計画」を策定した。

2003年、2004年は前年のマイナス成長を脱し、プラス成長を記録した。

経済協力

1.我が国の援助実績

	2004年度	2004年度までの累計
(1)有償資金協力	なし	なし
(2)無償資金協力	なし	72.16億円
(3)技術協力	2.49億円	38.79億円

2.主要援助国

(百万米ドル、2003年、DACベース)

(1)豪州(15.5)、(2)NZ(4.7)、(3)仏(4.1)、(4)日本(2.3)

二国間ODA計24

尚、2004年5月米のミレニアム・チャレンジ・アカウント援助の16供与適格国の一つに認定された。

二国間関係

1.政治関係

(1)1980年7月の独立式典に秋田大助特派大使派遣。

(2)1981年1月8日、日・バヌアツ間に正式の外交関係開設。

(3)1993年11月25日、在京バヌアツ名誉領事館開設。

2.経済関係

(1)対日貿易(2004年、財務省「貿易統計」)

(イ)貿易額

輸出 18億円

輸入 26億円

(ロ)主要貿易品目

輸出 魚介類、牛肉、ウッドチップ

輸入 貨物船、自動車、機械

(2)我が国からの直接投資

24件 206億円(平成元年～17年度累計)

3.文化関係

国際交流基金より昭和59、60の両年度に、バレーボール指導のためのコーチを派遣。

4.在留邦人数

59名(2006年9月現在)

5.在日バヌアツ人

2名(2005年10月現在)

6.要人往来

(1)往(1980年以降)

年月	要人名
1980年	秋田特派大使
1985年	森下元晴議員
1986年	浦野外務政務次官
1987年	倉成外相
1991年	鈴木外務政務次官
2003年	矢野外務副大臣

(2)来(1982年以降)

年月	要人名
1982年	ソペ外務次官(中堅指導者招待)
1984年	リニ首相(外務省賓客)
1988年	レゲンバヌ文部大臣
1989年	ティマカタ大統領夫(妻大喪の礼)
1990年	リニ首相(花博賓客)
1991年	リニ首相(外務省賓客)
1992年	ポール外相
1995年	コーマン首相
1997年	ポオール首相(第1回太平洋・島サミット)
2000年	ソペ首相(第2回太平洋・島サミット)
2001年	イアティカ蔵相(税制に関する東京会合)
2003年3月	ティティク土地・環境・地質鉱山・水道大臣(水フォーラム)
2003年5月	ナタペイ首相(第3回太平洋・島サミット)
2004年2月	モリサ財務大臣
2005年6月	リニ首相
2005年7月	ブレ貿易・商業・観光大臣(博覧会賓客)
2006年5月	リニ首相(第4回太平洋・島サミット)

## 7.二国間条約・取極

青年海外協力隊派遣取極(1987年)、  
技術協力協定(2006年)

## 8.外交使節

- (1) 駐バヌアツ日本国大使  
滑川雅士駐フィジー大使が兼任。
- (2) 駐日バヌアツ大使  
任命されていない。